



⑩その他

・小松バイパスへ交通が転換することにより現道区間の交通安全（歩行者・自動車）向上が期待

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等

・周辺の自治体である西条市より、積極的な整備促進について要望活動が続けられている。

愛媛県知事の意見：

・「対応方針（原案）」案については異議ありません。小松バイパスについては、今治小松自動車道へのアクセス強化や国道11号の交通混雑の緩和を図る重要な道路であり、整備の促進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成18年5月 (主) 壬生川新居浜野田線（東予有料道路）延長3.5km 無料化
- ・平成19年2月 (主) 壬生川新居浜野田線 開通
- ・平成20年3月 (一) 丹原小松線 開通
- ・平成20年3月 (一) 南川壬生川停車場線 開通

(その他)

- ・平成19年4月 大型ショッピングセンター(西条市新田)オープン
- ・平成19年11月 観光エリア(鉄道歴史パークinSAIJO) オープン

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・西条市小松町北川～西条市小松町妙口間（延長2.0km）については、平成20年3月までに暫定開通。
- ・平成28年3月末で用地取得率38%、事業進捗率43%。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・西条市小松町新屋敷地区において、用地買収推進中。また、平成28年度から西条市小松町新屋敷地区～西条市小松町北川地区の詳細設計、設計協議を推進中。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

※ 費用対効果分析結果及び感度分析の結果の欄に係る数値は、平成25年度評価時点。